

夢花感謝祭

昨年6月に開催された夢花事業部の「夢花感謝祭」にて、
でんでん虫のスタッフが演奏しました♪

夢花感謝祭は、年に一回、地域の方に日頃の感謝をお伝えするため、夢花事業部が開催しているお祭りです。おいしい本格ちゃんこや山小屋カレーを食べたり、花笑みの会のバザー、児童デイサービスドリームの活動紹介など、盛りだくさんの会となっています。



昨年は私たちでんでん虫スタッフも音楽でお手伝いさせていただき、来場されたお客様たちと、歌を歌ったり、体を動かしたりと、楽しい時間を過ごしました。来場されたお客様は地域の方はもちろん、ドリームに来ている小さな子どもたちから、デイリー夢花に通う大先輩まで。ドリームの小さな子どもたちが♪川の流れるように を聴きながらクルクル踊っている姿を見て、音楽に垣根はないなあと微笑ましく思いました。コンサートのラストには、♪おおシャンゼリゼ の替え歌で♪おお～ながさわ～ おお～ながさわ～ と会場の皆さんと一緒に歌い、大盛況の一時間でした。



夢花工房の利用者さんたちとの音楽活動は、どのグループもみなさんの“意欲満々！”にあふれた楽しい時間を過ごしています。一昨年から始まったデイリー夢花も人数が増え、現在は12名の方が参加しています。

音楽の活動中も楽しいおしゃべりの輪が次から次に広がり、普段の生活ではなかなか積極的でない方も、気が付いたら自分からお話されたり、お隣の方と顔を見合わせて笑いあったり、へえ～と驚いたり…利用者さん同士の横の関係作りにとっても広がっているなと感じます。ダンスの場面では利用者さん同士で誘い合うのですが、毎回みなさんまるで告白タイムのようなドキキ感です。いくつになってもトキメキは大切ですね。ある男性利用者さんは、意中の方に誘われてガッツポーズでした(笑)それを見ていた他の利用者さんも「よかったねえ」と声をかけ、和気あいあいとした空気が流れています。

パーカッションは作業班によってグループのカラーが違い、個性豊かです。オーリーブでは、あゆまつりでもご披露した“サンバダンス”が定番となり、毎日がリオのカーニバルのような熱気です。オーロラの男性だけの歌声もとっても素敵です。ぼぱいのメンバーたちの積極性はナンバーワンでオンリーワン。思わず自然に体が動いてしまうってこういうことだな、と改めて思います。

音楽の時間の中で気が付いたことや気になったことを職員と話し合い、また日中の生活の様子なども伺うことで、情報を共有し、次回のプログラムにつなげるようにしています。お互いに、見ている利用者さんの様子がお互いの全てではないこと、お一人お一人の小さな変化に注目し、情報を互いに収集し合う中で、改めて意識することや利用者さんが音楽の場面だからこそ折り合っていることに気が付くことがあります。その一つ一つの小さな変化をキャッチして一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。

(吉野 紀子)

～～長沢・南生田方面のでんでん虫の活動～～

毎週火曜、水曜の午前…児童デイサービスドリームの未就学児対象のリズム

第1.3火曜日の午後…夢花工房のぼぱい、オーリーブ、オーロラの 3つのグループに分けて活動しているパーカッション(講師:加来亨さん)

第2.4火曜日の午後…デイリー夢花の方対象の作業外音楽活動

毎週月曜の午前…夢花グループ音楽(主にぼぱいのメンバーが参加しています)

外来療育

<言語療法>
声や言葉を使った
コミュニケーション
を広げていきます。



でんでん虫では、未就学のお子さんから成人期の方々まで、幅広い年代の方々に療育や余暇活動のプログラムを提供しています。

個別療育、グループ療育、集団の余暇活動など、成長の過程に合わせた療育を提案させていただいています。音楽療法士が多いでんでん虫スタッフの特色を活かした音楽療法を主として、健康体操、言語療法、学習グループ、成人期の趣味・仲間づくりの場としての集団活動など、様々な活動が日々行われています。一緒に楽しさを共有しながら信頼関係を築き、それぞれの世代での育ちを支え、悩みに寄り添っていきたくと思っています。

外来療育の一場面をご紹介します！

(小田嶋 幸子)



楽器で思いっきり
音をだすと
気持ちがすっきりします☆

息を合わせてリズムが揃うと
気持ちいい～～！

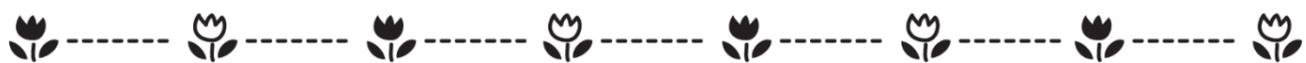


スタッフや仲間と一緒に
取り組むから楽しいね！



学校支援

保育園でのリズム活動



平成 28 年度、でんでん虫は市内 34 校（多摩区 17 校・麻生区 5 校・宮前区 5 校・高津区 5 校・中原区 2 校・川崎区 2 校）の小中学校からの依頼を受け、学校支援を行ってきました。音楽療法プログラムの実践の提供と終了後の活動の振り返りと対応の相談、職員に向けての実技研修や療育的なアドバイス、福祉や療育についての情報の提供、地域の福祉事業所との連携のコーディネート等、年間を通じ学校の先生方と協力して取り組んできました。

また、積み重ねてきた実技研修や療育的アドバイスは現場の授業にも役立てられ、先生方の授業の指導案に取り入れられるようになっていきます。

活動の有効性は学校内で認知され、H27 年度にパンフレットを作り各学校に広報したこともあり、夢教育等の予算の中に組み込んでいただけるようになってきました。

夢教育の予算は各学校での年度ごとの采配もあり、まだ不安定ですが、必要度の高い活動として評価していただけるよう、継続していきたいと思っています。

各園にでんでん虫スタッフが出向き、保育士さんと一緒に園児さんに音楽活動を提供しています。

音楽活動の提供、職員への音楽の技術の伝達、対応の相談を主な目的として行っています。

年度の初めには、でんでん虫の渡邊による職員研修や打ち合わせを行い、子どもたちが充実した音楽体験ができるように、活動ごとのねらいや、大人が出来る配慮等を確認します。

絵カードを一つ見せるにも、子ども達が思わず注目してしまうような魅力的な出し方はどうしたら良いか、子ども達が満足感や達成感を感じられるような合奏はどんな構成にしたらよいかなど、細かなところまで話は及びます。

このような積み重ねがあって、保育士さんとでんでん虫スタッフが、共通の認識を持ってリズムの時間を進めることが出来ていると思います。

どの園でも、リズムの時間の進行は保育士さんにやっていただいています。研修や実践が積み重なり、どの園でも先生方がスムーズに進めて下さいます。

保育士さんの専門性と、日頃子どもたちと築いた関係性を活かすことで、楽しく配慮が行き届いた時間を作ることが出来ます。毎回先生方と振り返りの時間を持ち、子どもたちの様子や内容について相談をして次に繋げています。

取り組んだ合奏やダンスが、リズムの時間だけではなく、発表会や運動会など園の行事で取り入れていただいているのを見ると、リズムの時間が保育園の生活に根付いていると感じます。卒園する子どもたちに「保育園で楽しかったことは？」と聞いた時に、「リズム！」と答えた子が多かったというお話を、ある園の園長先生がして下さいました。

子ども達の「リズムだいすき〜！」「リズムたのしい」という声は私たちの励みになります。

(小田嶋 幸子)



学校支援の様子を一部ご紹介します。

(渡邊 紀子)

音楽とともに、子どもと先生と一緒に楽しみながら盛り上がっていきます！



先生も子どもたちと一緒に真剣に取り組めます☆



みんなで息を合わせて合奏！
最後は達成感と共に笑顔があふれます！！

